

第1部 ケルトとローマの重要なシンボル

コミッサオン・ヂ・フレンチ 「神よ、イーリャ(この島)を救いたまえ」

振付 セルジオ・ロバート

英国王室の典礼と(ウニアオン・ダ・イーリャのパレードの特徴でもある)リオデジャネイロ流の不遜な態度を混合し、コミッサオン・ヂ・フレンチは絢爛豪華な英国王室についてのカーニバル版パロディを表現する。

第1アーラ 「騎兵隊」

騎兵および彼らが守る国王陛下がこのアーラの見せ場であり、2012年のパレードの開始にあたって、エスコーラの旗を掲げたメンバーを引き連れてくる。

トリペー(三脚の小出車) 「時の扉」

1970年代のウニアオン・ダ・イーリャのパレードをなぞって時の扉を開き、2012年のパレードの開始口上を述べる。

女性搭乗員 プリシラとグラジェーリ 「衛兵」

第2アーラ 「ケルト族の戦士——古のフリーガン」

ケルト族の戦士たちは、敵に打ち勝つべく、顔を青く塗り、身体にタトゥーを入れた。

DESTACCA・ヂ・シャオン マリアーナ・ソウザ 「ケルト族の女戦士」

第1山車(アブリ・アラス) 「ロンディニウム・アウグスタ:ローマ属州ブリタニア」

ローマ皇帝ティベリウス・クラウディウス・ゲルマニクスによって紀元前43年に建設されたロンドン市を表現する。

DESTACCA(中央・前) レアンドロ・フォンセッカ 「ケルト族」

副DESTACCA・男性(上・後) クリスチアーノ・モラート 「ドルイド」

パフォーマンス搭乗員・女性 「聖火」

パフォーマンス搭乗員・男性(下段) 「ドルイドの魔法使い」

男性搭乗員(上段) 「ケルト族」

男性搭乗員(上段) 「ローマ軍兵士」

女性搭乗員(下段) 「ローマ貴族」

第2部 騎士の物語、そして、中世イギリスの空想冒険

第3アーラ 「十字軍の騎士たち」

チェスのコマのナイト(騎兵)とポーン(歩兵)が、馬にまたがり、イングランド国旗の聖ジョージの十

字を運ぶ。

第4アーラ「聖杯」

チェスのキング(王)に模して、聖杯を探し続けたアーサー王を表現する。

メストリ・サーラとポルタ・バンデイラ(第1ペア)

ホナウデーニョとヴェロニカ

「聖戦士の闘い」

イギリスの伝説を表現する。聖ジョージの英雄伝説には、姫たちや竜たちにあふれた冒険談が多い。

メストリ・サーラとポルタ・バンデイラ(第1ペア)の随員 「テンブル騎士団」

白地に赤く、聖ジョージの十字を描いたマントを背負い、テンブル騎士団が十字軍の任務に就く。

第5アーラ「ドルイドのマーリン」

アーサー王の物語に登場する魔法使いのマーリンを題材として、ケルト族に伝わっていた古のドルイドの儀式を表現する。

第6アーラ「ロビン・フッド」

盗賊王子ロビン・フッド

デスタッキ・ヂ・シャオン イングリッチ・コヘイアとキコ・アウヴェス 「不道德の具現」

第2山車「守護聖人の加護のもと」

様々な中世の騎士物語や伝説を題材として、キリスト教徒とイスラム教徒との戦争の様式および、それに続く大英帝国の形成を表現する。

デスタッキ(右) アウグスト・メロ「ムーア人」

デスタッキ(左) パウロ・ホドリゲス「十字軍兵士」

副デスタッキ(前・下) マルセーロ・ゴンサウヴェス「アーサー王」

搭乗員「騎士達」

第3部 エリザベス1世の黄金時代、シェイクスピアの戯曲、海洋支配

振付グループ「ロミオ、ジュリエット、そして悲劇」

全時代で最も有名な愛の物語の主人公、ロミオとジュリエット。

第7アーラ「キャブレット家の舞踏会」

ウィリアム・シェイクスピアの作品に基づき、ロミオがジュリエットを知る舞台となったキャブレット家の仮面舞踏会を表現する。

メストリ・サーラとポルタ・バンデイラ(第2ペア)

マルシーニョとシャイエーニ

「薔薇戦争」

薔薇戦争とは、王位をめぐるヨーク家(ポルタ・バンデイラ)とランカスター家(メストリ・サーラ)との間で起こったイギリスの内戦である。

第8アーラ「私掠船員たち」

エリザベス1世から私掠免許を受け、イギリス人として初めて世界一周を達成し、英国王室を潤したサー・フランシス・ドレイクの流転。

デスタッキ・ヂ・シャオン ホーゼ・バハート「海賊の女王」

第9アーラ「海戦」

スペイン王フェリペ2世が有する無敵艦隊アルマダに対する、エリザベス1世の勝利。

第3山車「海洋支配」

エリザベス1世の治世を表現する。初期の英国植民地獲得やスペイン船からの略奪がエリザベスの宮廷に富を蓄積させた。

デスタッキ(中央) アレシャンドレ・ゴンサウヴェス「私掠海賊」

副デスタッキ(前・下) ジョイス「宝石」

副デスタッキ(後・上) レイラ・ペイショート「女王」

副デスタッキ(横・下) ジョアオン・ヴィトールとアレシャンドレ「王下私掠船員」

女性搭乗員「私掠海賊の魂」

男性搭乗員「女王の私掠海賊」

振付グループ「海」

第4部 英国の世界覇権

パフォーマンス・グループ「海」

荒波が女王陛下の私掠船を揺らす。

第 10 アーラ 「オセアニア」

オーストラリアのアボリジニーの文化に関連して、オーストラリアとニュージーランドの植民地獲得を表現する。

第 11 アーラ 「アフリカ」

ブラックアフリカおよびアラブ地域における英国植民地。

ハイニャ・ヂ・バテリア ブルーナ・ブルーノ 「ポカホンタス」

ポウハタン族の娘、本名マトアカは、バージニアのイギリス人入植者の命を救い、18世紀に伝説的ヒロインとなった。

第 12 アーラ(バテリア) 「スー族の戦士」

メストリ ヒキーニョ

スー族は、イギリス初の北米植民地バージニアに住んでいた勇猛な先住民部族だった。

デスタッキ・ダス・パシスタス パトリシア・ポンチス 「先住民」

第 13 アーラ(パシスタス) 「アメリカ先住民」

アパッチ、モヒカン、コマンチ、チェロキー等、イギリスの北米植民地に存在した先住民部族に光をあてる。

第 14 アーラ 「インドのマハラジャ」

王族たちは通商条約を通じたイギリスのインド支配にとって重要な存在だった。

パフォーマンズ・グループ 「ラジャ(王族)」

象にまたがった王たちと王子たちを表現する。

第 15 アーラ(バイアーナス) 「極東」

京劇風の衣装を身に着けて、中英間の紛争を表現する。

デスタッキ・ヂ・シャオン ヴィヴィアーニ・グワピアスー 「ポポウラ」

第 4 山車 「大帝国」

植民地の獲得から大英帝国の成立に至る勃興と、北米 13 州の独立から 1997 年の香港返還に至るその解体を表現する。

デスタッキ(中央) ピナー 「巨大な竜」

搭乗員「扇の舞」

女性搭乗員「阿片」

第5部 ビクトリア朝時代——英国文化

第 16 アーラ「科学」

近代物理学の祖であるアイザック・ニュートンを称える。

トリペー(三脚の小出車)「万有引力の法則」

天球儀を模した作りで、ニュートンを含む英国の偉大な科学者を称賛する。

第 17 アーラ「シャーロック・ホームズ」

有名な英国のミステリー小説に登場する頭脳明晰なキャラクター、シャーロック・ホームズ、および、切り裂きジャックのブラジル版を合わせて表現する。

第 18 アーラ「ホラー小説」

ブラム・ストーカーの『ドラキュラ』、メアリー・シェリーの『フランケンシュタイン』、ロバート・ルイス・ステューブンの『ジキル博士とハイド氏』といった定番作品を合わせて表現する。

第 19 アーラ「5時の紅茶」

産業革命期のイギリス社会の戯画的表現。

デスタッキ・ヂ・シャオン レチシア・エスピレールとエリベルト・レアオン

名作『不思議の国のアリス』のアリスとマッドハッターを演じる。

第 20 アーラ(クリアンサス)「アリスの白ウサギ」

絶大な人気を誇るアリスの白ウサギを題材とする。

第 21 アーラ「ハートのクイーンの衛兵」

ハートのクイーンが衛兵に命じてアリスを捉えようとする場面を表現する。

パフォーマンス・グループ「不思議の園」

アリスが冒険する不思議の国を、咲き誇る花々が彩る。

第 5 山車「アリスの紅茶」

児童文学『不思議の国のアリス』の「アリスの紅茶」のシーンを題材に、第 2 次産業革命の進展と

英国文学の魅力によって英国が絶頂を迎えたビクトリア朝時代を、パロディ調に表現する。

搭乗員 イモムシ賢者アブソレム

ヤマネ(眠りネズミ)

第6部 英国の現代——ビートルズから英国ポップカルチャーまで

第22 アーラ「チャップリン」

ロンドン出身で「放浪者」のキャラクターで不滅の存在となったチャールズ・スペンサー・チャップリンを通じて、イギリス期限の映画関係者すべてを称える。

第23 アーラ「サイケデリックな潜水艦」

1960年代製作、ビートルズ主演のアニメ作品の「イエロー・サブマリン」を表現する。

第24 アーラ「愛」

かのリバプール出身の若者たちと、1960年代末のベトナム反戦に向けた平和と愛のスピーチ。

第25 アーラ(統一ステップ)「ロンドン、ロンドン」

1960年代から70年代にかけて、都市生活者の間でカウンターカルチャーの流れが生じた。ここでは、ロンドンのタクシーの扮装でそれを表現する。

第26 アーラ(ヴェーリャ・グワルダ)「サンバの王族」

ヴェーリャ・グワルダが英国貴族を表現する。

第6山車「ロンドンのスウィング」

公園・庭園があるイギリスの都市の風景を提示しつつ、マダム・タッソーの蝨人形館に展示された人物を通じて、その歴史を概観し、世界に影響を与えたイギリスの文化革命を表現する。

デスタッキ(中央) エンヒキ・ダルジラーゴス「サイケデリック」

副デスタッキ(横・下) ネアンドロ「近衛兵」

女性搭乗員 「カーナビ・ストリート」

パフォーマンス搭乗員 サムエウ・アブランチス、エステヴァオン・ヂ・オリベイラ、アンドレ・セヴェリアーノ「ポップ・ロックの歌手」

第7部 オリピック——2012年ロンドン大会から2016年リオデジャネイロ大会へ

第27 アーラ「サッカーSCはマラカナンにあり」

我々の最大の情熱を掻き立ててきたメンバーが大集合した、「ブラジリアン・ドリーム・チーム」対

「イングリッシュ・ドリーム・チーム」のサッカー試合を表現する。

第 28 アーラ(作曲部)「ホスト」

作曲部が、世界中の人々を迎え入れる。

第 29 アーラ 「情熱バンザイ」

「リオデジャネイロ・オリンピック大会の開会」を祝し、我々が来訪者に見せる最大の祝祭カーニバルを表現する。

第 30 アーラ 「スポーツの熱狂」

各国代表団に挨拶するアルレキン(ハーレクイン)を主役にすえて、ロマンティズムとカーニバルの伝統を表現する。

デスタッキ・ヂ・シャオン ラクライア 「サソリ」

リオデジャネイロのサンバ、サンバリオを表現する。

第 31 アーラ 「リズムとビートの中で」

スポーツマンシップとリオデジャネイロのスウィングを着想のもととした振付で、カプロツシャ(黒人よりの混血女性)とマランドロによるサンバを表現する。

第 32 アーラ 「万国旗」

ピエホー(ピエロ)が参加各国の国旗を掲げる。

デスタッキ・ヂ・シャオン ヘジーナ・エスプロザオン 「勝利の喜び！」

トリペー(三脚の小出車)「リオデジャネイロの紋章」

2016年オリンピック開催地であるリオデジャネイロ市。

デスタッキ(中央) フラビオ・ホツシャ 「平和の灯火」

第 33 アーラ 「『島』代表」

アスリートとともに、作業場で山車を製作した作業員が、ウニアオン・ダ・イーリャ・ド・ゴヴェルナドールのカーニバルが象徴する「喜び」の代表として登場する。

第 7 山車 「『さらに』素晴らしい(マラヴィリョーザな)街(シダーチ)」

「シダーチ・マラヴィリョーザ(素晴らしい街)」との異名をもち、2016年には世界最高のスポーツ・イベントであるオリンピックの舞台となるリオデジャネイロを称える。

ウニアオン・ダ・イーリャ 2012年 パレード構成 (Roteiro dos Desfiles より)

搭乗員 「アレグリーリャ(明るいイーリャ・イーリャ風の喜び)」

パフォーマンス搭乗員 「スポーツの街」